

# 北海道浮魚ニュース

平成30(2018)年度2号

2018年4月27日

道総研水産研究本部 函館水産試験場

ホームページ：<http://www.hro.or.jp/list/fisheries/research/central/section/shigen/ukiuo/index.html>

## ◎第1回日本海スルメイカ長期漁況予報発表される

4月27日、第1回日本海スルメイカ長期漁況予報が発表されたので概要をお知らせします。今回は本州各府県を主な対象とした漁期前半(5月～7月)の予報です。

なお、この予報は水産研究・教育機構と日本海側道府県水産研究機関が参画し日本海区水産研究所がとりまとめを行いました。詳細は以下のホームページからご覧になれます。

水産研究・教育機構 (<http://www.fra.affrc.go.jp/>)

日本海区水産研究所 (<http://jsnfri.fra.affrc.go.jp/>)

「我が国周辺の水産資源の現状を知るために」(<http://abchan.fra.go.jp/>)

### 今後の見通し(2018年5月～7月)

対象魚種：スルメイカ

対象海域：日本海

対象漁業：主にいか釣り漁業

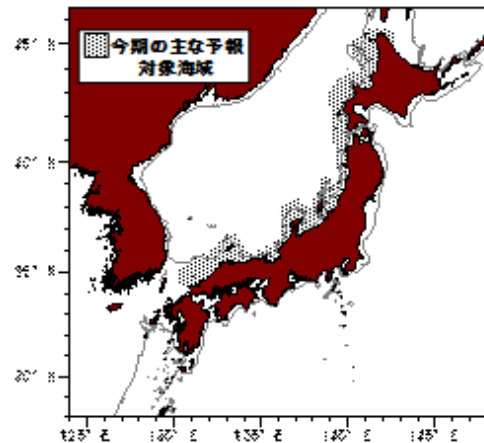
対象魚群：主に秋季発生系群

(1) 来遊量：前年並で近年平均を下回る。

(2) 漁期：近年同様

(3) 漁場：石川県以北

※近年とは過去5年(2013年～2017年)



・2018年4月に実施したスルメイカ新規加入量調査の結果では、今期漁獲対象になると予測される外套背長5cm以上のスルメイカの1調査点当たりの採取尾数は11.6尾で、前年(8.6尾)を上回り、近年平均(16.5尾)を下回った。

・2017年10～11月に実施したスルメイカの幼生分布調査では、幼生の分布密度が2016年並であり過去5年(2012年～2016年)平均を下回った。

・平成30年度第1回日本海海況予報では、スルメイカの漁場形成に影響を与える4月中旬～6月の表面水温と50m深水温は、共に「平年並」と予測されている。

・2017年5月～7月の小型いか釣り等によるスルメイカ(生鮮)の漁獲量は、道北・道央で過去5年(2012年～2016年)平均を上回ったが、ほかは過去5年平均を下回った。

今後の北海道日本海へのスルメイカ来遊状況に関しては、函館水試調査船金星丸により実施する5月下旬の日本海北上期調査および6月下旬の日本海漁場一斉調査の結果も参照して下さい。また、漁期後半については7月に第2回日本海スルメイカ長期漁況予報が発表される予定です。その他の情報とともに、随時浮魚ニュースでお知らせします。

(函館水産試験場調査研究部、TEL：0138-83-2893、FAX：0138-83-2849)